

公開実用平成1-125345

⑨日本国特許庁(JP)

⑩実用新案出願公開

⑪公開実用新案公報(U)

平1-125345

⑫Int.Cl.⁴

C 09 J 7/02
B 32 B 3/24
7/06
7/14
27/10
33/00

識別記号

JJE

府内整理番号

6944-4J
Z-6817-4F
6804-4F
6804-4F
6762-4F
6122-4F

⑬公開 平成1年(1989)8月25日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全頁)

⑭考案の名称 化粧粘着シート

⑮実願 昭63-19047

⑯出願 昭63(1988)2月16日

⑰考案者 青山憲介 埼玉県比企郡鳩山町石坂664-713

⑱出願人 大日本印刷株式会社 東京都新宿区市谷加賀町1丁目1番1号

⑲代理人 弁理士 須賀 総夫

明細書

1. 考案の名称

化粧粘着シート

2. 実用新案登録請求の範囲

非通気性の化粧シートの裏面に粘着剤を塗布し、離型紙3を当ててなる化粧粘着シートにおいて、化粧シート1および粘着剤層2を貫通する多数の微細な孔4を設けたことを特徴とする化粧粘着シート。

3. 考案の詳細な説明

考案の目的

【産業上の利用分野】

本考案は、化粧粘着シートの改良に関する。

【従来の技術】

たとえば壁に貼って使用する化粧粘着シートの代表的な構成は、絵柄の印刷を施した薄葉紙と透明なポリ塩化ビニルのフィルムとを貼り合わせて非通気性の化粧シートを形成し、裏面に粘着剤を塗布し、離型紙を当ててなるものである。

この化粧粘着シートを貼る施工の際、壁と化粧粘着シートの間に空気が残って気泡が生じることがある。その対策としては、化粧粘着シートの気泡の生じた部分に針やカッターなどで孔を開けて、空気を外部に逃がしているのが現状である。これは面倒なだけでなく、化粧シートの外観を損なうことがある。

【考案が解決しようとする問題点】

本考案の目的は、上記のような対策を抜本的に改め、壁などに貼るときに、気泡が生じることの

なく施工できる化粧粘着シートを提供することにある。

考案の構成

【問題点を解決するための手段】

本考案の化粧粘着シートは、第1図および第2図に示すように、非通気性の化粧シートの裏面に粘着剤を塗布し、離型紙3を当ててなる化粧粘着シートにおいて、化粧シート1および粘着剤層2を貫通する多数の微細な孔4を設けたことを特徴とする。

非通気性の化粧シートとしては、前記したもののはか、プラスチックたとえばポリ塩化ビニルやポリエチレンテレフタレートのフィルムに絵柄の印刷を施して同種または異種のプラスチックのフィルムと貼り合わせ、必要によりエンボス加工を施したものなど、任意の化粧シートが使用できる。

微細な孔の径は、0.003~0.5mm程度、好ましくは0.005~0.05mm程度とする。この孔の配置は、もちろんランダムでよいが、縦および横に数mm~数cmのピッチで規則的に設ける

方が容易であろう。孔あけは常用の針ロールを通して行なってもよいし、板に針を植えたものを押し当てて一定面積ずつ孔をあける方法によってもよい。

【作用】

本考案の化粧粘着シートは、壁などに貼るときに、空気が残っても、化粧シートおよび粘着剤層を貫通する微細な孔を通して、空気が容易に追い出され、気泡が生じることはない。

孔は微細であるから、化粧粘着シートの外観を損なうことはない。

【実施例】

75μの厚さの着色したポリ塩化ビニルのシートにグラビア印刷で絵柄の印刷を施し、この上に厚さ75μの透明なポリ塩化ビニルのフィルムを、ダブリングエンボス法により貼り合わせて、化粧シートを用意した。

この化粧シートの裏面にアクリル樹脂系の粘着剤を30μの厚さで塗布した後、針ロールを使用して、化粧シートと粘着剤層を貫通する孔径約

0.01mmの微細な孔4を、第2図に示すように、幅方向にピッチ5mmで2列、列間隔も5mmとして、流れ方向のピッチ30mmで繰り返し設けた。その後、粘着剤層に、シリコーンを塗布した厚さ38μのポリエスチルフィルムの離型紙を当てて化粧粘着シートを得た。

考案の効果

本考案の化粧粘着シートを使用すれば、壁などに貼るとき、壁とシートの間に、空気が残って気泡が生じることはないから、気泡を針で突き破って空気を逃がすといったことは必要がなくなり、能率のよい施工ができる。孔は微細で、化粧シートの外観も損われない。

4. 図面の簡単な説明

第1図は、本考案の化粧粘着シートの構成を示す、模式的な断面図である。

第2図は、本考案の化粧粘着シートの一例を示す平面図である。

1 … 非通気性の化粧シート

2 … 粘着剤層

3 … 離型紙

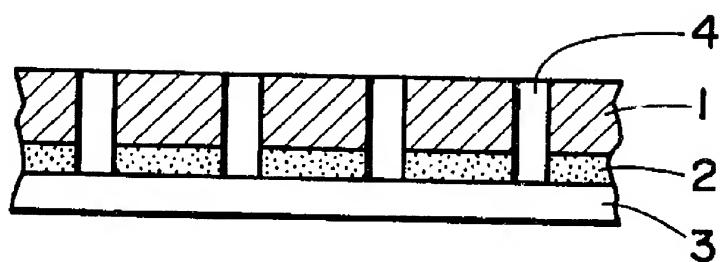
4 … 微細な孔



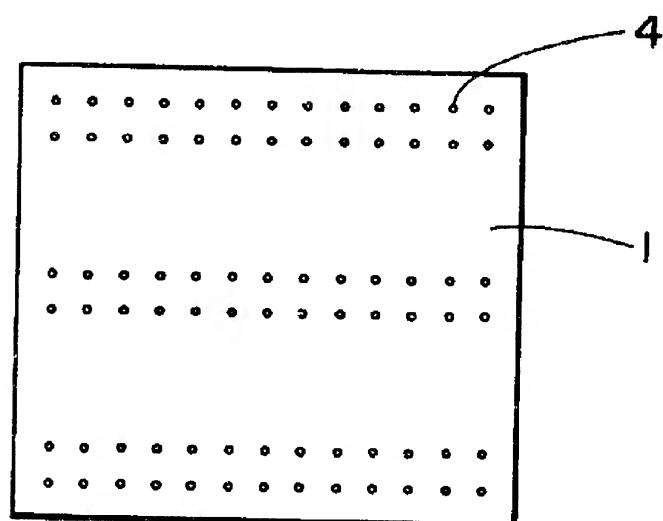
実用新案登録出願人 大日本印刷株式会社

代理人 弁理士 須賀 総夫

第 1 図



第 2 四



456

実閑1-125345

代理人 弁理士 須賀総夫